

No. 536
2016年
3月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第34回学生論文賞募集

OR学会の発展は、将来の優秀なOR研究者およびOR実務担当者の養成いかにかかっています。その一助として、ORに対する学生の関心を高め、かつ大学におけるOR関係学科間での情報交流にも役立つため、学生会員の卒業論文、修士論文の中から、毎年優秀なものを選び、「日本OR学会学生論文賞」として昭和58年度より表彰しております。

対象は、学部卒の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。指導教員、学生がともに本学会員であることが必要です。卒業論文・修士論文の指導にあたっておられる教員の方々には、積極的にご推薦くださいますよう、お願いいたします。

(表彰委員会)

応募方法：

(1) 正会員である指導教員の推薦状1部を、指導教員から送付してください。

* 推薦状は、学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>よりダウンロードしてください。

(2) 卒業論文あるいは修士論文の論文、および論文要約のファイルを、学生から提出してください。

* PDFファイルの名称は、それぞれ次のように執筆者の名前入り、英文字としてください。

- ・論文…Thesis_Yamada_Taro.pdf
- ・論文要約 (A4判2枚) …Abstract_Yamada_Taro.pdf

応募学生の資格：2016年3月に学部を卒業、あるいは修士課程を修了する会員で、引き続き学生会員あるいは正会員である者。

応募締切：2016年3月31日

送付先：学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
(表彰委員会宛)

表彰：受賞者には、OR学会研究発表会その他適当な機会に表彰し、受賞論文の要約をOR誌に掲載します。

● 2016年春季シンポジウム (第75回)

日程：2016年3月16日 (水) (受付 12:10～)

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール

テーマ：「ビッグスポーツイベントとOR—東京オリンピック・パラリンピックを安全・エネルギー・交通から考える—」

実行委員長：田村明久 (慶應義塾大学)

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016symposium.html>

プログラム：

13:00～13:05 開催の挨拶

13:05～13:20 腰塚武志氏 (筑波大学名誉教授, 日本OR学会前会長)

「オリンピックとOR」

13:20～14:20 河野一郎氏 (東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長)

「東京オリンピック・パラリンピックに向けて」

14:25～15:25 伊藤哲朗氏 (東京大学生産技術研究所客員教授, 元内閣危機管理監)

「大規模スポーツイベントにおける危機管理～東京オリンピック・パラリンピックを中心に～」

15:40～16:40 大西英之氏 (GEパワー & ウォーター日本代表)

「エネルギー問題における部分最適から全体最適へのパラダイムシフト」

16:45～17:45 田口東氏 (中央大学理工学部教授)

「東京オリンピック観戦客輸送の余裕を首都圏電車ネットワークは持っているか」

事前振込み参加費：3/5 (土) 締切

正・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

* 非会員の学生の事前振込みはありません。

* OR誌2月号綴込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：3/5(土) 締切

2016年度年会費納入済み個人正会員は、2016年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、OR学会事務局にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員：5,000円

非会員の学生：2,000円

*学生の方は受付で学生証の提示をお願いします。

2016年3月に卒業・修了する方も学生として参加できます。受付当日に学生証の提示ができない場合は、3月に卒業・修了した旨お伝えください。

協賛学会：正会員と参加費同額

- ・公益社団法人日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人プロジェクトマネジメント学会

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2016年春季研究発表会

日 程：2016年3月17日(木)、18日(金)

場 所：慶應義塾大学 矢上キャンパス

OR学会統一テーマ：「オリンピック・パラリンピックとOR」

発表会特別テーマ：「実学で切り拓くOR」

実行委員長：栗田 治 (慶應義塾大学)

発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016s/>

特別講演：

(1) 3月17日(木) 14:30~15:30

講師：前刀禎明氏 ((株)リアルディア 代表取締役社長、元アップル米国本社副社長 兼 日本法人代表取締役)

講演題目：「未来を創るセルフ・イノベーション～問題発見力を磨く～」

(2) 3月18日(金) 13:20~14:20

講師：研究賞受賞者 塩浦昭義氏 (東京工業大学准教授)

講演題目：「離散凸解析の世界をひろげる」

事前振込み参加費：3/5(土) 締切

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌2月号綴込みの振替用紙をご利用ください。

当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員のみ(非会員学生を含む)参加費と別途2,000円/件(本学会の許可が必要)

当日受付参加費：

正・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員：10,000円

非会員の学生：2,000円

*学生の方は受付で学生証の提示をお願いします。

2016年3月に卒業・修了する方も学生として参加できます。受付当日に学生証の提示ができない場合は、3月に卒業・修了した旨お伝えください。

賛助会員の方へ：

1口につき1名様の研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。)ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

懇親会：2016年3月17日(木) 18:00~20:00(予定)

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス ファカルティラウンジ

懇親会費：事前振込み5,000円

*原則、事前振込みとなります。当日申込みについては、定員上お受けできない場合があります。お受けできる場合は、6,000円です。

企業展示：

(株)NTTデータ 数理システム

(株)オクトーバー・スカイ

(株)構造計画研究所

(株)近代科学社

協賛学会：正会員と参加費同額

- ・公益社団法人日本経営工学会（JIMA）
- ・社団法人日本品質管理学会（JSQC）
- ・日本信頼性学会（REAJ）
- ・研究・技術計画学会（JSSPRM）
- ・一般社団法人日本設備管理学会（SOPE-J）
- ・一般社団法人プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● **2016年秋季シンポジウム（第76回）**

日 程：2016年9月14日（水）

場 所：山形大学（小白川キャンパス）

● **2016年秋季研究発表会**

日 程：2016年9月15日（木）、16日（金）

場 所：山形大学（小白川キャンパス）

● **中部支部総会**

中部支部URL：<http://www.orsj.or.jp/chubu/>

日 時：2016年3月5日（土）12:00～13:00（予定）

*時間につきましては、中部支部HPにてご確認ください。

場 所：ウインクあいち15階（愛知県立大学サテライトキャンパス）

名古屋市中村区名駅4-4-38

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

「名古屋駅」から徒歩約5分

● **中部支部特別講演**

中部支部URL：<http://www.orsj.or.jp/chubu/>

日 時：2016年3月5日（土）16:00～16:45

場 所：ウインクあいち15階（愛知県立大学サテライトキャンパス）

テーマと講師、及び概要：

「信頼性における多状態問題について」

大鑄史男（名古屋工業大学教授）

信頼性の問題が、信頼度の低い部品から構成されるシステムの信頼度を如何にして高めるかと言ったノイマンの問題意識から発したことはよく知られている。これを受け、Barlow, Proschanらのグループによって単調システムの問題を基本にシステムの信頼性評価方法、agingの問題、依存性の問題、保全の問題などについて基本的な議論がなされた。これらの議論では、

システムおよび部品の状態として故障と正常の二状態のみが考えられていたが、実際にはこれら以外の中間的な状態も存在することはよく理解されていて、より広い信頼性の理論的枠組みが求められていた。これを受け、二状態についての議論がほぼ収束した1980年頃から多状態に関する議論が始まり、現在は国際的に一つの大きなグループが構成され、理論・応用について議論されている。さらに現在の信頼性に関する問題意識は多状態のみでなく、多ユニット、多状態、依存性の三つを如何にしてモデル化し解析を行うかに向いている。特に依存性の問題は、Marshal Olkinの二変量指数分布の定義以来、部品の故障による他の正常部品への負荷増加の問題が代表的であり、最近の複雑ネットワークにおけるカスケード故障の考え方に通じる。

本講演では、樹脂押し機とオイルパイプラインを例に多状態システムのモデル化における問題、これまでに得られている知見、今後の進展などについて紹介する。

● **新宿OR研究会**

【第356回】

日 時：2016年3月15日（火）12:00～14:00

場 所：OR学会事務局会議室

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

*詳細は学会HPをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

最寄り駅

①JR 総武快速線「馬喰町」駅下車

西口改札 出口2より徒歩8分

②地下鉄 東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅下車

2番出口より徒歩6分

③地下鉄 都営新宿線「岩本町」駅下車

A5出口より約6分

講 師：流王智子氏（公益社団法人鉄道総合技術研究所）

テーマ：「ケンブリッジ大学における研究プロジェクトへの参加」

参加費：3,000円（昼食代を含みます。事前メールにてお申込みください。）

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

● 新入会員 (2016年1月理事会承認分)

—正会員—

葛西 恵里子 千葉工業大学
 傅 靖 福岡工業大学〔九州支部〕
 行本 顕 三菱鉛筆株式会社
 井出 昌浩 株式会社 クニエ
 玉置 哲也 九州大学〔九州支部〕

—学生会員—

鈴木 友季也 東海大学
 大城 泰平 東京大学
 松家 大士 東海大学
 松本 侑也 関西大学〔関西支部〕
 大廣 一貴 北海道大学〔北海道支部〕
 高澤 陽太朗 東京工業大学
 湖山 浩光 東京工業大学
 矢島 萌子 東京工業大学
 山内 美里 北海道大学〔北海道支部〕

布谷 睦 北海道大学〔北海道支部〕
 松永 和也 東京理科大学
 夏 情 北海道大学〔北海道支部〕
 矢部 亮介 早稲田大学
 片桐 颯介 北海道大学〔北海道支部〕
 水野 博文 電気通信大学
 木村 圭児 九州大学〔九州支部〕
 吉田 和矢 東海大学
 松下 芽以 筑波大学
 御前 汐莉 慶應義塾大学
 山根 智之 東京工業大学
 竹屋 裕樹 筑波大学
 横尾 知孝 筑波大学
 成島 大悟 筑波大学
 斉藤 凌 法政大学
 吉田 佑輔 東京工業大学

* 支部表記のない方は本部所属です。

2016年度第1回 ORセミナー

『統計分析の基本—データを用いて意思決定する方法を学ぼう』

開催趣旨: ビッグデータの流行とともに、分析用のソフトウェアやクラウドサービスなどが普及しています。統計の知識がなくてもこれらを使えば、何らかの結果を得ることはできますが、内部ではどのような分析が行われているのでしょうか？ 正しい結果を得るためには、基本的な分析の知識が必要です。今回のORセミナーでは実際の例を交え、さまざまな統計分析の手法を基本から紹介します。

日時: 2016年6月4日(土) 10:25~18:00 (10:00開場)

会場: (株)構造計画研究所 本所新館(地下1階レクチャールーム)

〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065

丸の内線「新中野駅」1番, 2番出口から徒歩1分 <http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: 東京ガス(株)片瀬成誠 (OR学会研究普及委員)

定員: 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

10:25~10:30 開会挨拶

10:30~11:25, 11:40~12:30, 13:40~14:30 「解析例で見る統計的モデリングのプロセス」

講師: 東京工業大学大学院情報理工学院 野村俊一

概要: 統計的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータに基づいて、データが生み出される確率的構造を推測することである。本セミナーでは、主に保険のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

14:45~15:40, 15:55~16:45, 17:00~17:50 「因果分析と要因探索のための多変量解析法」

講師: 慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科 渡辺美智子

概要: 統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。ここでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

17:50~18:00 閉会挨拶・アンケート記入

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

※ORセミナー参加特典: 正会員でない賛助会員および非会員/学生非会員は、入会金無料で入会でき(それぞれ正会員/学生会員となる)、2016年度の年会費は免除されます。

申込方法: お名前, ご所属先, 正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員, お支払い予定日を記入して、メールにて日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp までお申し込みください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。

申込締切: 2016年5月27日(金) OR学会WEB www.orsj.or.jp/activity/seminar.html をご参照ください。

振込先: みずほ銀行根津支店(店番号235) 普通 1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額): 日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・技術計画学会(JSSPRM), 日本設備管理学会(SOPE-J), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

備考: このセミナーには2015年度第1回ORセミナーと重複する内容があります。

2016年度年会費納入のお願い

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。この払込取扱票は2016年1月以降も使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員14,400円，
学生会員5,000円，
シニア会員7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担をお願いいたします。

*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は**2016年1月20日**に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきます。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

2016年3月で卒業の学生会員の方へ

1) 会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

変更届けがあった場合は、正会員に種別変更いたします。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）の会費はそのままです。2016年11月に2017年度（2017年3月～2018年2月末）正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

①WEBからの入会申込み

②入会金600円のお振込み

③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 5月以降に「学生証PDF送付依頼」のメールを送ります。返信をよろしく願います。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。